

## フロンティア賞に関する補足説明

フロンティア賞は「設立の趣旨」にもある通り、当学会の他の賞で十分顕彰できていない業績について表彰することを目的としています。特に田中館賞との違いについてはしばしば質問を受けますので、少し、補足説明をいたします。田中館賞は内容説明にもある通り、顕著な学術業績を上げた会員に授与されます。つまり、業績としてはひとえに学術論文が評価されることとなります。一方、フロンティア賞は学術論文とはならずとも、

- 1) 当学会関連の学術が他の学術分野に貢献することを示し当学会の存在を広くアピールした
- 2) 当学会関連の学術の進歩に寄与する革新的技術開発を行った
- 3) 当学会関連の学術の維持発展に寄与する研究基盤の構築・整備を行った

等の功績を顕彰するのが目的です。したがって、田中館賞との重複受賞を妨げるものではありませんが、田中館賞の受賞対象となる研究に直接結びついた技術開発ではなく、その後の当学会及び周辺分野への技術の普及や研究観測基盤の整備などが評価されることとなります。そのため、推薦文にはその部分の記述が求められますし、業績リストにはその活動の実績を示すもの（学術論文ばかりでなく、報告書や設計書なども含め）が必要です。推薦委員会としては、田中館賞とできるだけ直交する評価軸を設定したいと思っています。推薦に当たりましては、上記補足説明を参考にしてご検討いただきますようお願いいたします。

2018年9月6日

フロンティア賞候補者推薦委員会委員長 渋谷秀敏